

賀地地第 79 号の 1
令和 2 年 3 月 23 日

賀茂地域広域連携会議構成員 様

賀茂地域広域連携会議議長
(静岡県特別補佐官)

賀茂地域広域連携会議の書面決議の結果について

日頃、賀茂地域における広域連携の推進について、御理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「賀茂地域広域連携会議の書面決議の実施について（令和 2 年 3 月 17 日付賀地地第 76 号の 1）」により実施した「賀茂地域教育振興方針」の一部改訂について、下記のとおり結果を報告いたします。

記

1 結果

構成員全員が承認したため、原案のとおり可決されました。

2 その他

各構成員のコメントについては、別紙のとおりですので御確認ください。

担当 地域課地域班 主査 平井 電話 0558-24-2202

「賀茂地域教育振興方針」の一部改訂についてのコメント

下田市長	<p>人口減少が進展する賀茂地域において、ふるさとに誇りと愛情を持って地域の発展に貢献できる人材の育成について関係団体が連携し、具体的な取組を推進することが重要と考えます。</p> <p>併せて、子供たちが賀茂地域に帰ってきたくなるような魅力ある地域づくりを車の両輪として進めていくことが必要であると考えます。</p>
東伊豆町長	<p>現方針による取組の方向性が定まってきた中、それらが重点化され次期方針案に計画されており、今後、これらの施策を連携し推進していくことが大事である。</p>
河津町長	<p>地域が一体となり、生まれ育った地域が大好きで、地域のためになりたいという「賀茂の子」を育む教育振興方針が示せた。</p>
南伊豆町長	<p>改訂を経て、さらに充実した内容となった。本方針を基に、今後、効果的な施策が推進されることを期待する。</p>
松崎町長	<p>各市町の意見を集約し、より充実された本方針を基に、賀茂地域の教育が推進されることを期待する。</p>
西伊豆町長	<p>高校の存続や魅力ある学校づくりのため、方針に沿って市町がさらに連携して取り組んでいくべきと考えます。また、3大学と協定を結んだことにより、これから様々な取組が行なわれると思いますが、外からの発信により自分たちの地域の良さを知り、地元に残りたい、戻ってきたいという子ども達が増えることを望みます。</p>
森県議（参与）	<p>大学・地元が連携して、地域の教育レベルの向上のための準備が整ったことを嬉しく思う。この機会を有効に活用して、さらなる教育推進を期待する。</p>